

山の百の花 番外編

岩崎 元郎

【115】ブルーポピー

私家版「世界五大名花」を考えてみた。まずはヨーロッパ・アルプスから「エーデルワイス」、次にカナディアンロッキーから「グレーシャリーリリー」、ネパールの国花「ラリーグラス」、ヒマラヤ 4300 m 付近に咲く「ブルーポピー」、以上 4 花は北半球から選んだ。五つ目は南半球ニュージーランドから「マウントクッククリリー」、である。今回は初めてブルーポピーと出会ったときのこと。

20 年以上前になるだろうか、『山と溪谷』誌上で大姑娘山のレポートを読んだ。無理なく登れる 5000 m 峰、ブルーポピーとの出会い、この二点に強く惹かれて「大姑娘山登頂とフラワーハイキング」を企画、四川省の省都「成都」に飛び、日隆（リーロン）に移動。B C は老牛園子（ラオニューエンツウ）、A C を 4300 m 付近に上げる。A C に入ったその日、高度馴化を兼ねて付近をお散歩すると、お目当てのブルーポピーが咲いていました。大感激。翌日は

めでたく大姑娘山に登頂、標高 5025 m を足下にした。

ブルーポピーは、ケシ科メコノプシス属で中国雲南省原産の多年草。標高 3000 m ～ 4000 m 付近に自生する高山植物。ヒマラヤに咲く青いケシとして有名。花言葉は、「憩い・恋の予感」。大姑娘山は「地球を遠足」で来年、2012 年 7 月に計画している。



【116】イワタバコ

イワタバコ科イワタバコ属、湿った岩場に群生して生える多年草。紫色の星型の可愛らしい花を咲かせる。タバコの葉に似た葉を持つので「イワタバコ」。若葉は山菜として食用にされる。

湿った岩場に生えるということで、丹沢の沢登りでどこかの滝の脇で見たような気が

もするのだが、はつきりと記憶に残っているイワタバコは、「地球を遠足／＼ピレネー花の山旅」途上であった。成田からアムステルダム、そしてフランスのトゥールーズに飛ぶ。トゥールーズはエアバス本社がある町だ。ピレネー山脈をフランスからスペインへと抜ける山旅の出発点。最初に立ち寄ったのは聖地ルルド、この湧き水で洗えば患部は癒えるということで、頭を洗ってみたが良くなる気配はない。

峠を越えてスペイン側に入った。ちょっと湿った崖の脇に、花図鑑に紹介されている通り群生していたのがイワタバコだった。そのとき感じた愛らしいという思いは、バルセロナで見たフラメンコですつ飛んでしまった。オバカな男心ではある。

